

## 桜の名所一覧

	桜の所在地	桜のご紹介など
1	中村字北町 (中村城跡公園)	「馬陵公園の桜」は、中村城跡に植樹された約600本のソメイヨシノで、お堀や常緑樹とのコントラストが美しく、花見時期には大勢の花見客で賑わいます。
2	相馬高等学校 正門脇	正門脇の「しだれ桜」は、相馬高等学校の名物で、市内で開花が最も早いと言われています。
3	小泉川沿桜並木	小泉川沿いに植樹された桜は、ゆっくりと散歩しながら、お花見するのに最適です。
4	小泉字根岸 (安城屋東・小泉橋側)	小泉川沿いの小さな祠の後ろに咲く「しだれ桜」は、見る者をほっこりと和ませます。
5	尾浜字細田187(細田市営住宅北・市道側) 6号バイパス細田交差点から南東 約50m	昭和30年代頃から市営住宅細田団地の入居者や近隣の住民に親しまれ「親睦の桜」と呼ばれています。
6	原釜字北高野 (東部公民館敷地内)	「望洋希望の桜」は、公民館改築時に伐採の危機にあったとも聞きますが、今も生涯学習の拠点の桜として多くの住民に愛されています。
7	椎木字段の原 (羽山神社前・大野第二簡易水道)	推定樹齢350年の彼岸桜で、開花時期が水稻の蒔種期時にあたることから「種蒔桜」と呼ばれています。 寛永年間(1624~1643)椎木の青田権左衛門という人が参勤交代の帰りに、この桜の苗を入手し持ち帰り植栽したと伝えられ、「権左衛門桜」とも呼ばれています。
8	新田字鷲打地内 (県道原町海老相馬線、 飯豊小前信号から磯部方面へ約200m、道路北側約60m)	県道から、少し入ります、道が狭いので注意してください。

9	程田字小提地内 (通称:木下ため池)	昔、近くに古木桜があり、この桜は2代目で、「大山桜」(昔は「田植え桜」と呼ばれ、樹齢約100年と言われています。
10	程田字潜石 (6号バイパス潜石交差点西、船橋屋相馬南店 周辺)	交通量の多い場所ですので、よそ見運転に気をつけてください。
11	坪田字涼ヶ岡51 (涼ヶ岡八幡神社)	元禄8年(1695年)に5代藩主相馬昌胤が社殿造立した時に参道も整備され、その際に桜の木を植え、以後参道と放生池の周りが桜の名所となって今日に至っています。現在の桜は多くが100年以上経過しており、平成29年1月に若木80本を植栽し、計220本になりました。
12	今田字一里坂33 周辺	樹齢約300年と言われる、見事な「しだれ桜」です。
13	山上字前原から金谷原 地内(金谷原橋付近)	金谷原橋そばに咲き誇る見事な桜です。
14	山上字塩手下32 (国道115線塩手山登山口看板から南に約 500m)	「塩手の四季桜」はほぼ一年中花が咲いています。 例年4月上旬頃と10月下旬頃には、多くの花が咲き見ごろとなっています。
15	玉野字町74 (玉野小学校)	玉野小学校の桜は、地域みなさんに愛され、そして子供たちを見守ってきました。
16	玉野字副霊山309 (JAふくしま未来玉野出張所周辺)	地域の皆さんに、親しまれている桜です。
17	東玉野字町 (国道115号線伊達と相馬の境)	「伊達と相馬の境の桜」は、伊達藩と相馬中村藩との境界として桜の木が植えられた場所のひとつ。境の桜は、民謡『相馬二遍返し』の中で、「伊達と相馬の境の桜花は相馬に 実は伊達に」と唄われています。